Rits 広島

Rits 広島　第14号
発行日　平成25年８月１日
発　行　立命館大学広島県校友会
編　集　広島県校友会会報委員会
事務局　〒731-5115
広島市佐伯区八幡東
2-28-27
TEL/FAX（082）928-0132
印　刷　有限会社　創元社

同世代の長嶋選手に思うこと

広島県校友会
会長　伊藤利彦
（昭37　法学部卒業）

広島県校友会の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶びを申し上げます。

昨年は、広島県校友会創立60周年の記念総会を開催し、大学から川口総長、校友会本部から飛鳥井副会長始め来賓多数をお招きして、皆様と共に賑やかに祝うことが出来ました。お忙しい中、ご出席された校友の皆様には大変ありがとうございました。

さて、今年の校友会総会は９月７日（土）に、ホテルグランヴィア広島で行いますが、特に今回は多くの皆様が出席し易いよう、昼間の開催とさせて戴きました。年一回の総会です。多くの校友の皆様にご参加を戴き、旧交を暖め合えればと思っております。

ところで、今年５月５日（子供の日）に、往年のプロ野球大スター長嶋茂雄氏と、巨人や大リーグで活躍した松井秀喜氏への国民栄誉賞の授与式が行われ、テレビで中継されました。皆さんもご覧になったと思いますが、私もその場面を見ることが出来て、大変感激いたしました。

ふり返れば、私が立命館大学に入学した昭和33年、長嶋選手は立教大学の名三塁手としてどの球団に入団するか注目の的でした。その年に巨人入団が決まり、その後は目を見張るばかりの活躍で「ミスタープロ野球」と言われ、まさに国民的スターとして多くのファンに慕われました。

私は、アンチ巨人でカープファンの一人ですが、彼の一挙手一投足は動くたびに絵となり、敵味方を離れてファンを魅了しました。例えエラーをしても絵になる選手は、この人をおいて居なかったのではないでしょうか。

しかし、これだけのスター選手でも人に倍する猛烈な練習を、隠れたところでやっていたと伝えられています。世に天才と言われ、我々ファンも別格と思っていましたが、決してそうではなく「努力なくして成功なし」を自ら実行した人だったと言えるでしょう。

同時代を過ごしている私達にとって、「背番号３」ミスタープロ野球が、数々の感動を与えてくれたことを忘れることは出来ず、感謝の気持で一杯です。

平成16年、彼は不幸にして脳梗塞で倒れましたが、強い意志で懸命なリハビリに専念され、授与式では久しぶりに現役時代と変わらない引き締まった姿で登場し、またとない喜びを私達に与えてくれました。

やがて80歳に届く長嶋選手ですが、彼に感動し学ぶことは「人生最後まで飽くなき努力を続ける」という逞しさです。そんな思いを噛みしめながら、今年９月７日の校友会総会で皆さんにお会いしたいと思っております。

活動だより

第21回リッツ広島ゴルフ同好会

今春　４月20日（土）宮島志和CCにおいて、第21回リッツ広島ゴルフ同好会ゴルフコンペを開催しました。

当日は、天気予報がぴたりと当たり午後から雨、気温も４℃と真冬並みの厳しいコンディションとなりました。しかし、今年80歳になられた後藤・大下両大先輩を筆頭に全員見事にホールアウトしお互いの健闘を称え合いました。結果、悪天候にも拘らず安定したプレーを保った澤井雅樹さん（昭和49・理）が優勝されました。おめでとうございます。そして今回は福山から体育会ゴルフ部ＯＢの上田ルミさん（平成７・法）が参加して下さいました。ママさんゴルファーながらドライバー飛距離で我々を圧倒しコンペに華を添えて盛上げて頂きました。

この会は、年２回の定例コンペの他に、毎年秋に開催される関関同立ゴルフ対抗戦、そして毎年２月の新年懇親会などゴルフを中心に世代を超えて校友が親睦を深めております。最近は少しずつ平成卒の若い方々も増えてきました。

これからもより多くの皆様とゴルフを楽しみたいと思いますのでお気軽にどんどんご参加下さい。

（昭57理工学部卒　上野康史）

大野実佐子の会

さて、学生時代の思い出である。上賀茂にあった友人の下宿からは、比叡山の稜線のシルエットが、とても美しく見えた。そこには、北は北海道、南は九州と、全国からの校友が集い、おおいに飲み、語り合ったものである。寮歌にも、「他郷憂しと言うなかれ」とある。全国あちこちの友は、立命館で得たものの一つである。

さて、大野会である。この度、規約の改正を行った。

改正の目玉は、会員の範囲である。改正前は、広島県校友会限定であったが、改正後は、他郷ウェルカムとなった。また、校友以外でも、準会員としての参加が可能となった。

（写真・辰野安秀　昭33理工）

今年は、隔年で大野さんに来広いただく年である。３月23日には、メルパルク広島に大野さんを迎え、会員一同、大野さんのしっとりとした歌声を堪能した。良い唄は永遠に生きていくと熱く語る大野さんの思いを聞きながら、還暦を迎えたある会員は、いつまで聞けるのだろうかと弱気になったらしい。

全国区に船出したこの会に、全国からの校友が集う日を想う。

（昭55法学部卒　足羽眞一）

第11回東広島地区校友会総会

東広島地区校友会は、平成14年広島県校友会から地区校友会設立の要請を受け、当時の幹事・有志による設立準備会を開き、同年六月設立総会を開催、今年で12回目を迎えます。

私は第2回からの出席でしたが、会場や訪問先が酒にまつわる場所もあり地元ながら新発見でした。設立総会での出席者は19名で、以後出席者の目標を30名におき、多くの地区校友に案内しています。概ね20数名の校友の出席を得る中、平成22年は31名の参加があり、平成24年は初参加が８名と画期的な年でした。今後は更に多くの若手の校友に参加を促すため年代別世話人を置くなど試行錯誤しながら地区の活性化に取り組む予定です。

ご存じのとおり、当地区では毎年10月に西条酒祭りが開催されております。平成21年までは、光野会長（当時）宅にて有志による「美酒鍋の集い」を開催しておりました。近年は、美酒鍋会場の予約が難しい中、楽しみにされている校友も多く、今事務局としてどう応えていくか模索中です。

毎年１月西条駅前居酒屋で「新年会」を開催しております。気軽にどなたでもご参加下さい。

（昭48理工学部卒　藤岡康博）

平成25年度　校友大会のご案内

■日　時　平成25年９月７日（土）
第一部　総　会
（11:00～12:00）
第二部　懇親会
（12:00～14:00）
■会　場　ホテルグランヴィア広島　4階　悠久の間
■会　費　男性　8,000円
卒業後10年未満の校友
（平成16卒以降）　6,000円
女性　6,000円
新卒（平成25年卒業）　3,000円
（当日、受付でお支払いください）

※出欠のご連絡は、同封のハガキでお願いします。

編集後記

▼私事ではありますが、途絶えていた立命館時代の仲間との交流が復活し始めました。会報紙に関わり新たな校友との輪もできています。今回は若い人の寄稿も少し増えてきました。校友会の絆に感謝です。ありがとうございました。

（塚本　記）